

■田口卯吉(鼎軒) 経済学者、歴史家。自由貿易主張して保護派と論争し、雑誌創刊・史料覆刻など歴史学にも貢献。

たぐちうきち

安政大地震・1855＝ 江戸で幕府の下級幕臣の子に生まれる。_儒者佐藤一斎の曾孫。

安政の大獄・1859＝ 4歳：父と死別、

桜田門外変・1860＝ 5歳：

禁門の変・・・1864＝ 9歳： 母の薫陶を受けて育ち、

幕府に見習いとして勤番し、

明治維新・・・1868＝13歳：奮然と死を決意{彰義隊}に参加しようとするも、若年のため叶わず、静岡藩で沼津兵学校に学び、

戊辰戦争終・1869＝14歳：母の依頼を受けた中根香亭の門で修業後、

廃藩置県・・・1871＝16歳：上京し、

学問のすすめ1872＝17歳：_大蔵省翻訳局の上等生徒に転じて、英語・経済学を修め、紙幣寮に出仕。

明治6年政変 1873＝18歳：

_官費生活に満足できず、師の紹介で福地源一郎と栗源鋤雲の指導を受け、業務のかたわら啓蒙のための著述をして、関係する新聞紙上に掲載して貰ったことから、広く名を知られるようになり、

西南戦争・・・1877＝22歳：

大久保暗殺・1878＝23歳：_「自由貿易日本経済論」を著す。この年、官を辞す。

琉球処分・・・1879＝24歳：_*渋沢栄一の援助を受けて{経済雑誌社}を創立、{東京経済雑誌}を発刊。各方面に愛読されて一躍大家となる。以後、終生主筆を務めながら、この年、沼間守一の{嚶鳴社}に参加して政治的能力も研鑽、

・・・1880＝25歳：牛込区選出の東京府会議員となる。_「経済懇話会」を創設。{三井}{三菱}間での中立を確保すべく、

明治14年政変1881＝26歳：_援助を断って独立、以後、自由主義経済学の紹介と指導に当り、政府の経済政策を批判、

新体詩抄・・・1882＝27歳：創刊された{自由新聞}の客員となる。_5年がかりの「日本開化小史」が完結した。

岩倉具視没・1883＝28歳：「支那開化小史」。東京株式取引所肝煎となる。

内閣発足・・・1885＝30歳：「日本開化之性質」。

帝国大学始・1886＝31歳：「日本の意匠及情交・一名社会改良論」。両毛鉄道株式会社設立、

帝国憲法発布1889＝34歳：「条約改正論」。本郷区選出の市会議員となる。

足尾鉋毒始・1891＝36歳：_*史学雑誌{史海}を創刊、歴史家としての名声も高まる。

日清戦争始・1894＝39歳：_*衆議院議員に当選すると、{財政革新会}を組織、

日清戦争終・1895＝40歳：{進歩党}結成に参加、

八幡製鉄始・1897＝42歳：{日吉倶楽部}を組織、

子規句歌革新1898＝43歳：_以降、無所属となって、その意見がさらに尊重されるようになる。

ピノ/国産化・1900＝45歳：北中国を視察。

田中正造直訴1901＝46歳：「国史大系」の編集、

日露戦争始・1904＝49歳：満州・朝鮮を調査。*「続国史大系」のほか、「日本人名辞書」を著し、「群書類従」の復刻を行なうなど、何れも大部の史料叢書を覆刻・編集し、歴史学の発達の上でも多大の貢献をなしとげたが、

日露戦争終・1905＝50歳：_没した。

姉は明治女学校の創立者木村鑑子。